

こころ発第169号
令和3年(2021年)7月13日

各関係機関長 様

こころの健康センター
所長 古閑 章浩

令和3年度(2021年度)第1回熊本市ゲートキーパー養成研修会の
開催について(通知)

盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、本市の精神保健福祉事業の推進につきましては、御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応による経済的なダメージは大きな影響をもたらし、生活困窮等による自殺のリスクの高まりが懸念されるところです。

そのため、ゲートキーパー養成研修会(自殺危機初期介入スキルの習得を目的とした研修会)を今年度も実施することとし、相談対応のスキルアップをはかることといたしました。

ついでには、相談対応をされる職員にご参加いただきたいと存じますので、ご多忙中誠に恐縮ですが、担当職員の出席についてご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、出席者につきましては、8月12日(木)までにお申込みいただきますよう、併せてお願いいたします。

【問い合わせ先】

こころの健康センター 担当：段原・相馬
〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1
ウェルバルくまもと3階
TEL 366-1171 FAX 366-1173
E-mail danbara.nami@city.kumamoto.lg.jp

令和3年度(2021年度)第1回熊本市ゲートキーパー養成研修会実施要項

1 目的

我が国の自殺者数はこれまで減少傾向にあったが、昨年は増加に転じている。また、昨今の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応による経済的なダメージは大きな影響をもたらし、生活困窮等による自殺のリスクの高まりが懸念される場所である。

一人でも多くの自死(自殺)を防ぐため、様々なレベルでの介入が必要とされており、その一つに「地域におけるゲートキーパー(悩んでいる人に気づき、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人)」がある。より多くの人々がゲートキーパーの役割を果たすことで、自殺予防の一助になると思われる。しかしながら、実際に自殺に傾いた人を前にすると、対応に苦慮する(既に苦慮している)ことが考えられる。

よって、市民に接する機会のある職員等が自殺危機介入のスキルを習得することで、自殺に傾いた相談者に対し、リスクに気づいて適切な対応ができるようになることを目指す。

2 日時

令和3年(2021年)8月19日(木) 9:00~16:00(若干延長になる場合あり)

3 会場

ウェルパルクまもと3階 すこやかホール (熊本市中央区大江5丁目1-1)

4 内容

自殺を考える人、自殺を計画する人のサインを見逃さず、話を聴き、危険性をはかり、専門家等へつなぐという一連の流れを実際の場面で行えるためのスキルを身につけることを目的とした、ロールプレイを用いた参加型の実践的研修。

5 対象

市民等に接する窓口業務に従事している職員、又は相談を受ける機会のある職員(嘱託職員を含む) 定員20名程度。

6 申込方法

8月12日(木)までに、下記の申し込みフォームより申し込みをお願いいたします。締め切り後、受講をお断りする場合のみ連絡させていただきます。

【パソコン用フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/fgen/S16225998/>

【スマホ用フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/sfgen/S16225998/>



【問い合わせ先】

熊本市こころの健康センター 担当:段原・相馬
〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1

ウェルパルクまもと3階

TEL 366-1171 FAX 366-1173

E-mail danbara.nami@city.kumamoto.lg.jp